

ほおけもん!!

298 一般質問



大崎短歌会

兼題「別れ」

久しぶり帰省の孫を送る駅
つらい別れに窓追う老婆
女子寮で別れし友とようやくに
連絡取れて駅に待ちあう
冬さりて鶴のわたりの北帰行
出水の郷は惜別の春
体操に汗して別る仲間達
「また来週ね」と足どり軽く
ふるさとに「バイバイキエフ」と別れ告ぐ
ウクライナの人先見えぬ旅
あの世へと逝きしあまたの友の顔
眠れぬ夜に次々浮かぶ

坂元つる子
長重悦子
実吉安仁
穂園芳江
上南紀子
原田葉子

レンゲ田を囲む小道と別れ来て
孫の歩幅に合わせて漫歩

山下海征

キヤラ弁のつまりしリュックはずませて

弥生の校庭お別れ遠足

馬場みさ

薩摩郷句

兼題「飛っ」

ハックション 総入歯も飛っ 婆は大騒動
(唱) こらちよっしもた うっ壊れたかも
爺の仕事 晩の一杯で 疲れも飛っ
(唱) 晩楽しゆんで 頑張り爺様
遠矢耐多

飛っ鳥ゆば 射落てた勢の 藤井五冠

(唱) 如何けな脳みそか 見てみるごあつ 上村牛歩

強い風で ひっ飛だ鬨れ 狼狽ろっ

(唱) 辺ゆ見回えっ 騒動しっ被っ 上窪小絵

いつのこめ 飛だか年金 財布は空

(唱) 素抜かせんかち 亭主し罪むなすっ 満石うらら

国道せへ 豚が飛っ出っ 大騒動でなっ

(唱) 暢気き国道を 豚が歩りじよっ 北村虎王

クラスター つがね方角き デマが飛っ

(唱) 標的きされた 可哀想しか学校 諸木小春

勝負どっ 拳骨を天に 檄が飛っ

(唱) 負けあならんち 選手も燃えっ 藤元鬼瓦

ロシアかい 飛っ来た爆弾で 街ちや壊滅

(唱) ドラマジや無かよ 酷で事ちゆばしっ 一見愚楽満

飛っ行かじ 家ち居いやいち 諭吉様

(唱) 賄ねが悪いじ 居ろごちや無言っ 長重リリー